

発行 水橋地区学校統合推進委員会
(水橋西部地区センター内)

令和8年4月の開校が近づいてまいりました。今回は、完成した「富山市立義務教育学校水橋学園」について、市教育委員会からの情報をお伝えします。

■水橋学園が完成しました



富山市立義務教育学校水橋学園

「水橋の未来をつくる学びの杜」をコンセプトに、学校全体が学びの場となるよう工夫することで、全ての子ども達の可能性を引き出す未来志向の学校としています。

特徴的な主な施設

- ①階段教室（みずはしホール）
- ②体育館空調の整備
- ③2層吹き抜きの図書室
- ④ランチルーム 等

①みずはしホール

階段状の多目的ホールで、学習発表など幅広い学習活動に利用可能です。

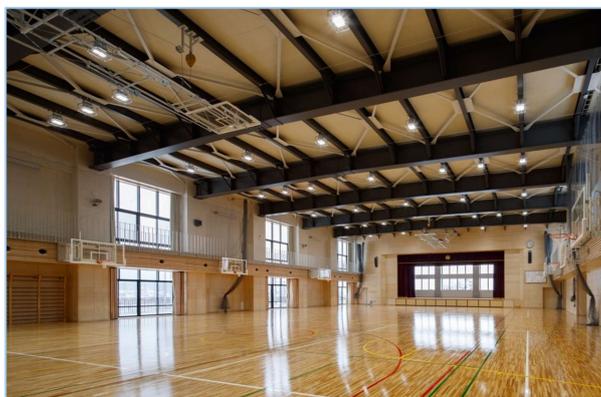
後方には、旧水橋高校の相山記念館にあったステンドグラスを移設しているほか、木の温もりを感じとれる空間となっています。



②体育館（前期課程用・後期課程用）

季節を問わず活動しやすいよう、前期・後期課程用の2つの体育館に市内の学校初となるエアコンを整備しています。

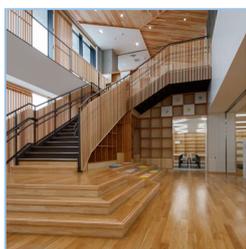
また、前期課程用体育館のステージ正面の大きな開口部から、立山連峰の雄大な景色を眺めることができるよう工夫しています。



③図書室

校舎中央に設置し、2層吹き抜きの開放的な空間となっています。

上級生と下級生が交流し、互いの学習意欲を高める工夫をしています。



④ランチルーム

多様なイベントに対応できる広さがあり、天井には水橋の歴史と縁の深い北前船の「帆」から着想を得た膜天井を設置しています。

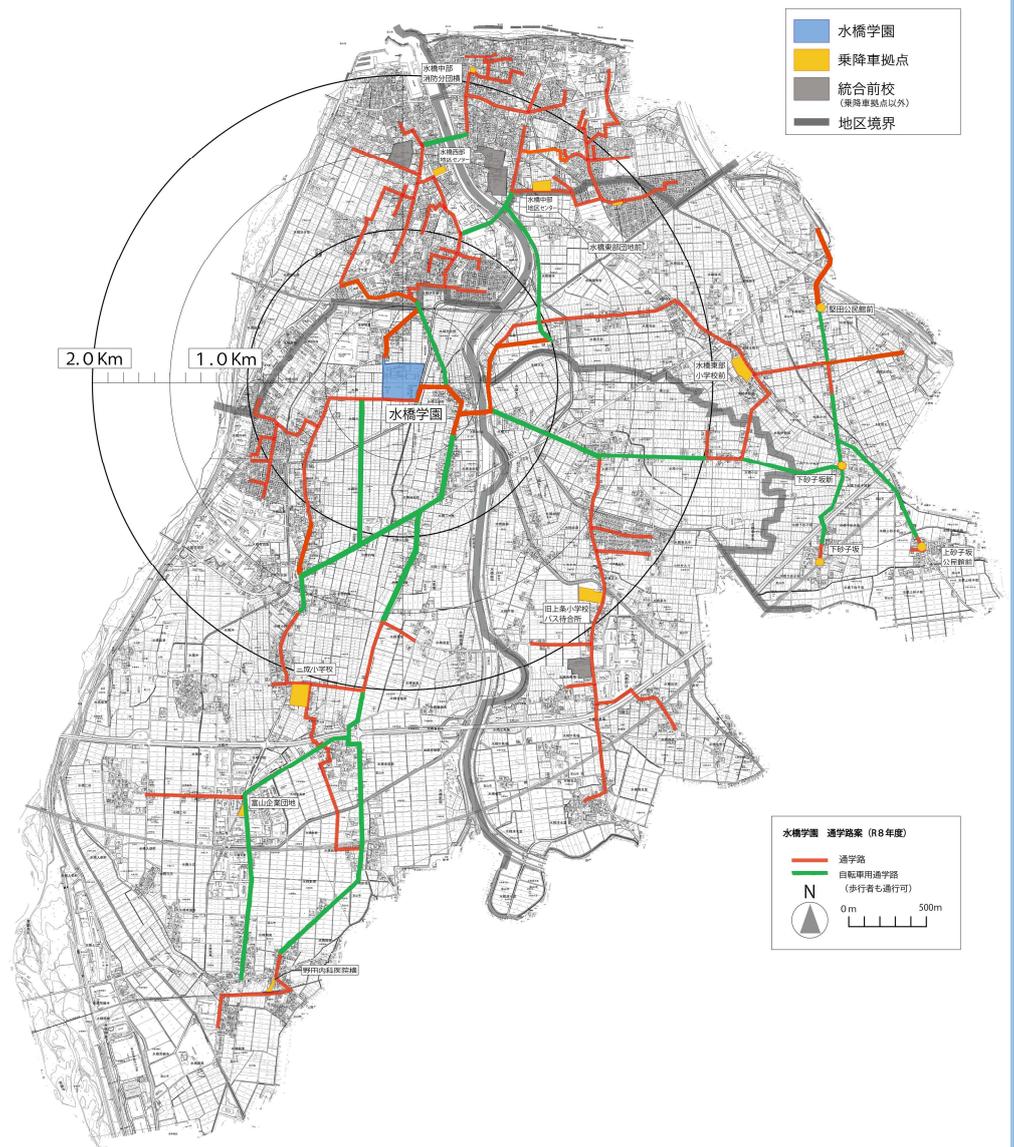


■通学について

水橋学園 通学路

水橋学園の通学路は右図のとおりです。徒歩通学対象の児童・生徒は通学路をもとに学園まで、また、スクールバス対象の児童・生徒は最寄りのバス停(乗降車拠点)まで参集としています。

また、7年生以上は自転車通学が全域で可能です。



スクールバス

スクールバスには、市内の小学生がデザインしたラッピングが施されています。2月13日(金)に行われた交流会では、4月から通学する児童・生徒が実際に乗車し、乗降場所や手順を確認しました。

